
銀魂 閣へ

白龍

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀魂 閻へ

【ZPDF】

N6190M

【作者名】

白龍

【あらすじ】

いつもの万事屋。このままにも無いと思っていた。

しかし、急にやってきた真選組の3人。

やってきた理由は・・・・・・

設定です（前書き）

友達にどういっていいかがいい?

と聞いたら先生生存ネタと即答されて決めました。

シリアルでがんばっていくので

応援よろしくおねがいします。

設定です

設定とプロローグみたいなものです。

設定は松陽先生生存ネタ的なものにしてみようかと思います

大まかな内容はこんな感じです

高杉が江戸に来る

桂と高杉が密談する

真選組が動く

銀時がいなくなる

銀時が攘夷派に戻る

)

松陽先生を救出!!

という感じで追加したりしますけど

設定は松陽先生生存ネタでいきます。

キャラクター

攘夷派

坂田 銀時 桂 小太郎

高杉 晋助 坂本 辰馬

幕府派(?)

真選組

近藤 勲 土方 十四郎

沖田 総悟 山崎 退

その他

神楽 志村 新八

設定です（後書き）

もう少ししつかり書けたらいいなと

思いました。

作文！？

そーいや今日キャラクター「ブック3」と

銀魂35巻の発売日でした。

さすがにいつも買いました——￥(^-^)／＼

こつもの万事屋（前編）（前書き）

初めての連載小説です。あと、一応投稿は3日～5日の間にしようと思います。

遅すぎても1週間以内に出したいと思います。

駄目文ですがよろしくお願ひします。

こつもの万事屋（前編）

神楽

「銀ちゃん、腹減ったヨー」^レ飯くれヨー」

銀時

「さつき食つたろー酢昆布買つてやんねーデ」

いつもの万事屋、しかしこの後大変な事が起ころのを
知る由もない

「そついや 新ハは？」^{メガネ}

神楽

「置い物に行つたアルよ」

酢昆布を食いながらしゃべる。

銀時

「あつそ・・・・・」

ソファーでジャンプを読む銀さん。

ピーンポーン チャイムが鳴る。

「おい、神楽いけ300円やるから

「いやアル。銀ちゃんがいくネ依頼かもしけないアル」

一向に引かない一人。

しようがなく銀ちゃんが行くはめに・・・

ガラガラ・・・・ピシヤッ。

田の前には「コリ」とサドヒマヨがいた・・・

「おい、万事屋あけろ」

「開けなければ打ちますぜい」ガチャとバズーカをセットする沖田。

さすがにバズーカはどじぶしづドアを開けた

こつもの万事屋（前編）（後書き）

読んでくれてありがとうございます。
これからがんばりますのによろしくお願いします。

こつもの万事屋（後編）（前書き）

どーもー話題が出来て軽く調子ついてしまっている
白龍です。何かもう「ゴジヤ」、「ゴジヤ」何で
わかるよつにプロローグとか書くんで少し更新が遅れます。
マジすこませーーん

こつもの万事屋（後編）

ガラガラ

「よう、万事屋。」

「旦那～いたんですねかい」

開けると土方と沖田がいた。しかし誰かいない・・・ような・
?

(あれ・・ゴリラ・・・いなくね・・・)

「ああ、近藤さんならあそこでわかる」

沖田は、道路の真ん中にあるゴリラの死体を指差した。

奥を見ると新八の姉”妙”が歩いていた。
どうやら、察しの通り殺つたらしい・・・

＊＊＊
（万事屋内）

「で、何の様ですかコノヤロー」

「あ、そうだったな・・・実はな・・・」

内容はこうだった

最近ある攘夷党が活発で隊士がほとんど出でている事。
そして、その間の屯所の警備＆雑用だった。雑用はないだろ・・・

「つま、そういうことだ。」

「おいおい、雑用はねーだろ」

「まーセうこいつ」となんでも

「明日からだからよひしへな」

そういう一人+一匹は帰つていった。

こつもの万事屋（後編）（後書き）

・・・・ あすがー————！

ツハしつれいしました——

「スライディング土下座——」

一週間前の真選組では・・・(漫書き)

やつとの投稿です。

最近 部活&塾 のためパソコンをつける暇も無く

投稿できなくてすみませんでした。

一週間前の真選組では・・・

* * 一週間前の真選組屯所 * *

「エーベルトはアーヴィング……」

朝っぱらからひねて二ジリー(三晝)の車

「何事だあ！」

マリーナの魔女学園

「攘夷浪士の中でも最も過激で最も危険な男、高杉晋助が江戸に入ったという情報が……」

「何だと…。」

高杉晋助・・・祭り好きで、派手で大規模なテロ行為による破壊を好む。穩健派の桂小太郎より幕府から危険視されている。

「おい、総悟。最近将軍様が出てくる様な祭りはあるか?」

「いや、無いと思いますぜい
土方死ね ボソ」

「アキラ」刊行――

* * * *

「ゼニゼイゼイ・・・」 沖田を追っかけ回してた。

「大丈夫ですかい。土方さんもう俺に副長の座を譲つた方がいいんじゃないですかい? ニヤリ」

「まだまだだ」

「トジ。んでどうするんだ?」

「警備を倍に増やすか？」

「でも、やうしたいたら出の所の警備がいつあるんだ？」

う~~~~~ん

「そつだ、田那はどうですかい？腕つつぶしは
土方さんより上ですね。
現に一回負けてやすい・・・」
ニヤリ

「あれは負けていない。剣が折れただけだ。」

「トシ、わがままはいかんぞ。」

「アリヤナギ。土方さん

(くそ～～総語のヤローー)

「で、何日くらい頼むんだ？」

「・・・・・・・・・・・・・・」

「どうせじょり・・・・・」

「大体一週間ほど頼めばいいんじゃねーか?」

「じゃあいつ誰が行きますかい?」

「ぜったい、俺は行かねーーー」

誰が万事屋へ頼みに行くかで一週間もかかり最終的には3人で行くことになってしまったのであった。

万事屋会議（前書き）

とても久々です。

最近新しい長編書こうかなと思っています。

応援してくださせい。

「で、どうするんですか。依頼受けるんですか？」

(ナレーター 新八?)

ただ今万事屋では会議が行われている。

内容は誰が真選組(ゴリラとマヨとサドの所)へ行くかアル。あれ神楽ちゃん?

もちろん普通にすぐに決まらない。

銀さんは

「新八、お前が行け」

ですし……神楽ちゃんは……

「新八。おメニューがいけヨ。雑用が。」

「というわけで話が進まないと・・・って僕雑用係!?」

「「やつだよ雑用。」」

「」

＊＊＊＊

「で、銀さん行つてきくだわいよ。警備とか僕出来ないです
よ・・・」

「大丈夫だ。お前ならきっと上手くいくはずだ。」

「そんなに上手くこきません。みんなで行きましょうつよ。」

「じょーがねーな、いちじ牛乳で手を打つてやる」

荷物を持って屯所へ向かった。

男や

ちなみに行く途中でズラを被つて不明な生き物を連れた長髪の
グラサンのまるで駄目なオッサン（マダオ）に出会い、
軽く神楽ちゃんが特にマダオをボコしていた。

万事屋会議（後書き）

は～、実は明日はもう始業式なんですよ。

もうホント嫌です。学校 자체が。

なんか3年ご組みみたいな教室だつたらいいのになあと

本気で考えてしまいます。

まあ、おこといて次回は高杉ら辺といつーことやね～うば～

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6190m/>

銀魂 閻へ

2010年10月9日03時24分発行